

【学校の教育目標】 学びを楽しみ、よりよく生きる人を育てる



子どもが楽しく学び、楽しさから「主体的・対話的で深い学び」な姿が見られている。大切にしたい。



確かな学びから獲得した力でよりよく生きてほしい。

【めざす子ども像】

明るく元気に楽しく学べる子ども

自分のことに自分で取り組む子ども

まわりの人と仲良くする子ども

【各学部教育目標】

聴覚障がい教育部

- 幼稚部 「遊びや生活を通して、心と体と言葉を育て、人とのかかわりを楽しみながら生活する子どもを育てる。」
- 小学部 「学ぶことに興味や関心を持ち、生活全般で身につけた言葉の力をもとに、人とのかかわりを大切にして生活する児童を育てる。」
- 中学部 「学力とコミュニケーション能力の向上を図り、人とのかかわりの中で自己理解を深め、社会性のある生徒を育てる。」

知的障がい教育部

- 小学部 「友だちと仲良く学び、主体的に活動する児童を育てる。」
- 中学部 「人とのかかわりを広げ、学習や活動に意欲的に取り組む生徒を育てる。」
- 高等部 「社会参加に向けての意識を高めながら、心豊かにたくましく生活する生徒を育てる。」

【聴覚部学校研究テーマ】

「学びがつながる授業づくり ～言葉の力を伸ばすためのやりとりの在り方～」

3年次（3年計画）

【知的部学校研究テーマ】

「学びがつながる授業づくり ～つながる学び 深まる学び～」

3年次（3年計画）

I はじめに

令和4年度に完全実施となった学習指導要領では、各教科の目標や内容の連続性・関連性を整理したこと、各段階間の円滑な接続を図るため、新たな段階を設けるなどつながりを整理し系統性のある内容を設定したことなどが要点として示された。そのために大切になるのは、指導者が、目標・内容・手だての妥当性や系統性、様々な学習場面への広がりを把握することであり、それを指導者間で共有していくことではないかと考えた。これを本校では「学びのつながり」と捉え、年齢や学年に応じ学習したことを積み重ねていく「縦のつながり」と、学んだことが他の学習や日常生活に広がることを「横のつながり」と考え、学ぶ内容の明確化とつながりのある指導計画の作成、学びのつながりについて、3年計画で整理・検討・実践・改善していくことにした。

1・2年次は、聴覚障がい教育部では、「やりとりまとめシート」を活用し、指導者の働き掛けや幼児児童生徒の応答などのやりとりについて振り返りながら、より適切な働き掛けや手だてを指導者間で検討し、また、年間を通してつきたい力、手だてを明確にし、適切な発問や指示についての検証や実践を積み上げた。知的障がい教育部では、学習指導要領を基に学習の内容をまとめた「学びの履歴シート」や文部科学省著作教科書（通称 星本）を参考に作成した「学習内容表」を活用して児童生徒のこれまでの学習状況や学習内容を明確にするとともに、期間を決めて年間指導計画の評価・改善を行った。

3年目にあたる今年度は、聴覚障がい教育部では、より焦点をしぼって言葉のやりとりの課題と手だてについて検証し、日常の授業ややりとりに活かすとともに、実践を積極的に学部内で共有する取り組みを行った。知的障がい教育部では、児童の実態や学習状況を適切に把握した上で、学習したことが他の学習場面や生活につながることを大切な視点にし、指導の評価・改善や指導計画の見直しを行った。

授業づくりにおいては、幼児児童生徒の学習状況や課題を把握・整理していくとともに、目標や教材、手だての在り方を検討し、他の学習場面や生活とのつながりを意識した授業づくりを進めた。

II 研究計画（3年次／3年計画）

（1）年次計画

| 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | |
|-------------|---|--------------|--|------------------|---|
| 方向性の決定 | 【聴覚部】 ・研究の方向性の決定 ・国語の教科書の確認 | つながりのある学びの整理 | 【聴覚部】 ・言葉に関する課題の適切な把握と手だての充実 ・やりとりの積み重ね ・指導案の様式の検討 | つながりのある学びの実践とまとめ | 【聴覚部】 ・言葉に関する課題の適切な把握と手だての充実 ・やりとりの積み重ね ・指導案の様式の活用 ・3年間の研究のまとめ |
| | 【知的部】 ・教科等の選定 ・各学部の研究の方向性の決定 | | 【知的部】 ・学習内容表の活用と見直し ・実施記録の作成・評価と年間指導計画の改善 | | 【知的部】 ・学びの縦と横のつながりを踏まえた授業づくりの検討と実践 ・3年間の研究のまとめ |
| 個の学びの把握 | 【聴覚部】 ・個の課題の把握 ・手だての検討・共有 ・やりとりの積み重ね | つながりのある学びの整理 | 【知的部】 ・学習内容表の活用と見直し ・実施記録の作成・評価と年間指導計画の改善 | つながりのある学びの実践とまとめ | 【知的部】 ・学びの縦と横のつながりを踏まえた授業づくりの検討と実践 ・3年間の研究のまとめ |
| | 【知的部】 ・学びの履歴シートの作成 ・個の実態や学びの状況の把握 ・指導者間での共有 | | 【知的部】 ・学習内容表の活用と見直し ・実施記録の作成・評価と年間指導計画の改善 | | 【知的部】 ・学びの縦と横のつながりを踏まえた授業づくりの検討と実践 ・3年間の研究のまとめ |
| 授業実践 | | | | | |

III 今年度の研究について

【聴覚部】

<研究テーマ>

「学びがつながる授業づくり ～言葉の力を伸ばすためのやりとりの在り方～」

3年次（3年計画）

<研究の目的>

やりとりの在り方を検討することにより、幼児児童生徒の実態や言葉の課題に対する適切な手だてをとった指導がとれるようになる。

<研究の方法>

- ①幼児児童生徒の実態や言葉に関する課題を的確に把握し、それに対する指導者の適切な手だてをとった授業づくりの実践を積み上げていく。
- ②指導者と幼児児童生徒のやりとりにおいて、指導者の言葉掛けが適切であったかを検討し、改善を行っていく。

【知的部】

＜研究テーマ＞

「学びがつながる授業づくり ～つながる学び 深まる学び～」 3年次（3年計画）

＜研究の目的＞

各教科と他の学習場面、生活とのつながりについて考察し、児童生徒の学びが深まる授業づくりをする。

＜研究の方法＞

- ①学習内容表や実施記録等のツールを活用し、計画・評価・改善を通して学びがつながる授業づくりの実践を積み上げる。
- ②他の学習場面や生活につながる学びについて考察し、指導計画や授業づくりに活かす。

IV 年間計画

| 月 | 研究に関する取組 | 内容 |
|-----|---------------|---|
| 4 | 研究全体会① | 今年度の研究についての提案 研究学部会 |
| 7 | 公開研修会 | 「幼児児童生徒を主体にした授業づくり ～ゆき養の取り組みを踏まえて～」 山形県立ゆきわり養護学校 校長 鏑水 直子 氏 |
| 1 1 | 研究全体会② 研究のまとめ | 各学部の中間報告 |
| 1 2 | 公開授業研究会 | 研究概要説明、公開授業、事後研究会 |
| 3 | 研究全体会③ | 今年度の研究のまとめ 次年度の研究について |

＜公開授業研究会 公開授業名・助言者＞

| 学部 | 授業 | 助言者 |
|-----------------|--|--------------------------------|
| 聴覚障がい教育部 小学部 | 算数（6年） 「拡大図・縮図」 授業者 板垣 希 | 酒田市立平田小学校 元校長 荘司 秀明 氏 |
| 知的障がい教育部 小学部 | 算数（3年1組） 「まる さんかく しかく」 授業者 阿部 友紀 | 山形県立楯岡特別支援学校寒河江校 教頭 土肥 修 氏 |
| 知的障がい教育部 中学部 | 数学（3年1組） 「1000までの数 ～お金を使っ て数えたり、計算したりしよう」 授業者 押切 咲子 | 山形県教育局特別支援教育課 主任指導主事 飯沼 恵 氏 |
| 知的障がい教育部 高等部 | 数学（1年1組） 「割合について考えよう」 授業者 佐藤 亜紀 | 山形県立鶴岡高等養護学校 教諭 秋山 里枝 氏 |